

のです。

- 自由な気風的环境があったわけですね。で、この学位論文が通って、小樽に来られたのですね。

42歳のときでした。

- 小樽の最初の印象は？

ま、とうぜん、寒い、というのが第一印象でした。それと水がきれいというのが、感動でした。京都育ちには、水道水を直接飲むというのは、非常に貴重なんです。

- それで、商大生の印象は？

関西の学生と比べると、おとなしいし、あまり好き嫌いを言わないという印象を受けます。京都では、もっと学生の自己主張がはっきりしていましたし。

- なにが商大生には欠けていると考えられますか？

やっぱり山の上に大学があるというのは問題ですね。大学は街の中、人の中ないと、学生たちも集まり難いし、感じられるものも感じられなくなるのではないのでしょうか。

- でも、昔の学生は、活気があったと聞いていますが。

それは共通一次テスト（現在のセンター試験）導入の弊害でしょう。大学の序列化が進んだ結果、本当に来たくて来た人が減っているせいですね。大学が全国区から地方区に変わってきました。偏差値の輪切りの弊害でしょう。

- 今西先生のバイタリティを感じ取ってくれるといいのですが。

いや、彼らには昔の言葉で語ってもはや通用しないでしょう。

- それでは、今後はどのようなテーマで研究されるおつもりですか？

一つは、女性史関係をやりたいと思っています。もう一つは、長く韓国に留学させて頂いていたので、日韓関係史をやりたいと思っています。

- なるほど、それは重要な課題ですね。ぜひ、先生の今後のいっそうのご活躍を期待しております。ありがとうございます。

ありがとうございました。

# INFORMATION

## 大学院入試のお知らせ

平成15年度大学院商学研究科（修士課程）の入学選抜日程が決まりました。入学試験は前期・後期の2回に分けて実施します。募集要項・大学院案内（8月上旬配布開始）の請求方法その他詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。担当までお問い合わせください。

### 大学院研究科の概要

高度の専門教育を求める社会人学生のために、教育方法の特例による昼夜開講を実施し、課題解決型総合指導制による教育を行っています。同時に札幌サテライトを積極的に利用し、現実に即した教育研究を行っています。

### 選抜区分及び募集人員

一般選抜  
社会人特別選抜

募集人員 20名

外国人留学生特別選抜 募集人員 若干名

### 入試日程

平成14年	9月11日（水）～19日（木）	前期出願期間
	10月11日（金）	前期試験（学力）
	10月12日（土）	前期試験（面接）
	10月17日（木）	前期合格発表
平成15年	1月8日（水）～15日（水）	後期出願期間
	2月7日（金）	後期試験（学力）
	2月8日（土）	後期試験（面接）
	2月14日（金）	後期合格発表

### 社会人を対象とした大学院説明会

8月24日（土）及び11月30日（土）に本学札幌サテライトにおいて、社会人を対象とした大学院説明会を開催します。詳細が決まりましたら本学ホームページに掲載します。本学大学院に関心をお持ちの方はぜひご参加ください。

### お問い合わせ先

小樽商科大学入学主幹付入学試験係  
電話 0134-27-5254  
E-mail nyushi@office.otaru-uc.ac.jp

### 入試に関するホームページ

<http://www.otaru-uc.ac.jp/hnyu1/>

## 小樽商科大学運営諮問会議から 答申が提出されました

去る4月25日に、小樽商科大学運営諮問会議（議長：鎌田力小樽商工会議所会頭）から、平成12年8月に本学が諮問した事項「小樽商科大学が進むべき方向性について」の答申が提出されました。答申は、諮問事項のうち「学部・大学のあり方」を中心にまとめられ、平成13年3月に中間まとめとして既に提出されている諮問事項の「国際交流、地域貢献等」については更なる提言を、最後の「小樽商科大学が進むべき方向性」においては全体を通しての各委員の意見の集約が述べられています。特に、学部においては小規模大学のメリットを生かした全人格的な教養教育の推進と、大学院ではビジネススクールの速やかな設置による高度専門職業人の養成、及び地域社会との密接な関係を維持した個性のある大学を目指すこと等の重要な答申が提言されています。運営諮問会議の内容及び答申の全文は本学のホームページに掲載しております。

（本学ホームページ <http://www.otaru-uc.ac.jp/news.html>）

### 運営諮問会議とは：

運営諮問会議は、大学が社会から意見を聴取し社会に対してその責任を明らかにするとの観点から、本学の教育研究上の基本的な計画や活動状況について学外有識者の方々に学長の諮問に応じて審議していただき、その結果を学長に対して助言・勧告することを目的に設置しています。